



自由民主党♪クラブ青空
岐阜市議会議員

和田直也。

今秋開催＊岐阜の未来をみんなで考えるcafe♪

みんなの知恵を集め、想いを繋げ、岐阜の未来を考える秋にしましょう「みんなの森ぎふメディアコスモス」でお待ちしています。

10月6日

----- (土) -----

16:30-17:30

あつまるスタジオ

市街地空き家対策
みんなの知恵を集める

11月16日

----- (金) -----

16:30-17:30

つながるスタジオ

岐阜の子育て教育
みんなの想いを繋げる

12月16日

----- (日) -----

16:30-17:30

かんがえるスタジオ

人口減の都市計画
みんなと岐阜を考える

YouTube 版！
和田直也のきちんと市政 & 議会報告会



あなたのスマホ＋PCに
岐阜市政＋岐阜市議会の
最新情報をお届けします
YouTube「和田直也」
チャンネル登録
お待ちしております！

議

会の質問 & 答弁。発言に基づ
く要旨です。題目＊市長選で
掲げた政策プランについて。

◆柴橋市長の岐阜市政への
基本姿勢、ここが相違点。

質問＊先の議会にて、市長選で掲げた政策プランはマニフェストではない旨の市長答弁があり、その新聞掲載がありました。しかし市職員は当初よりマニフェストだと思つて読み込み、6月議会でもそれに基づいて予算説明をされていた。評価体制の構築についても「政策評価は政治家として自身が行い、後援会を通じて広く市民に発信する」とも答弁されましたが、すると政策プランはあくまで後援会向けという理解になります。では政治活動に一定の線を引かなくてはならない市職員は政策プランをどう理解すれば良いのですか？市長＊私の政策プランと市の各種計画に基づく政策は行政課題を丁寧に解決し、暮らしやすく活気に満ちた岐阜市を希求する基本的な考え方は同じです。質問＊民主党国会議員として政治の舞台に上がった柴橋さんはマニフェストの申し子ではなかったかと思いますが、マニフェストそのものの認識をお尋ねします。市長＊金額や目標に拘りすぎた結果、政治が硬直化した事がマニフェストへの教訓でした。このままのマニフェストで良いのかというのが今日の課題と認識しています。意見＊マニフェストは今日も発展を遂げており、数値目標や評価体制の構築はより一層問われています。政務と公務という言葉がありますが、安全祈願祭などの市長公務は信仰上の理由で代理に任せている点では政治家柴橋さんと市長柴橋さんが一体なのに（信仰上の理由は尊重）、同じく一体なはずの政策については政治家柴橋さんが個人で評価される、では市長柴橋さんの政策は何なのか、どう評価体制を構築するのか、やはり疑問です。ここが共有できないとするとそれが市政に対する基本姿勢の違いです。ただ岐阜市のために手を挙げた、これは私も含めて全ての議員とも共有できるはずで、いろいろな論戦すれば気分を害することもあると思いますが、岐阜市発展を願う善政競争と理解を頂き、今後も基本姿勢の違いを明確にしながら是非々にて厳しく質していきます。